

中2

数学

きほん

名前 _____

式による説明

____ 月 ____ 日

れい

偶数 $2n$ 、奇数 $2n + 1$ 、3の倍数 $3n$ 、2けたの自然数 $10a + b$ … 整数を文字の式で表す。

$3n + 3 = 3(n + 1) \rightarrow n + 1$ は整数だから、 $3(n + 1)$ は3の倍数 … $3 \times (\text{整数})$ の形にする。

1 数を文字の式で表す

次の数を、文字を使った式で表しなさい。

☐ (1) n を整数とすると、7の倍数

☐ (2) n を整数とすると、奇数

☐ (3) 整数 n の次の整数

2 説明を完成させる

次の説明の □ にあてはまる式やことばを答えなさい。

☐ (1) 奇数と奇数の和は、偶数になる。このことを、次のように説明しました。

〔説明〕 m, n を整数とすると、1つの奇数は ア □、もう1つの奇数は $2n + 1$ と表される。

それらの和は、 $(\text{ア}$ □) + $(2n + 1) = \text{イ}$ □ = $2(\text{ウ}$ □)

ウ □ は整数だから、 $2(\text{ウ}$ □) は 偶数 である。

☐ (2) 連続する3つの整数の和は、まん中の数の3倍になる。このことを、次のように説明しました。

〔説明〕まん中の整数を n とすると、連続する3つの整数は、 ア □, n , イ □ と表される。

それらの和は、 $(\text{ア}$ □) + n + (イ □) = ウ □

ウ □ は、まん中の数 n の 3倍 である。

できた □ / 5問

